

中学生の皆さんへ

自分が中学3年生の時、何を考えていたのだろうか、何を思ってこの学校を選んだのだろうか。今の自分が過去の自分にアドバイスをするとしたら…？そんなことを考えながらこの文章を書くことにする。ぜひ最後まで読んでくれると嬉しい。

さて、早速だが過去の自分にアドバイスをしたいこと、それは

「ここから先は義務教育ではない」

ということだ。高校からは義務教育ではない、つまり小学校や中学校の時よりも自分の意志で行動しなければならない。今だってこれから通う高校を自分で選択しようとしているだろう。ここで間違えてはいけないのは

“自分の意志で行動すること”は“周りの人や大人を頼ってはいけないこと”と同じではないということだ。むしろどんどん頼るべきだと思う。

自分が困ったとき、第三者の声は最上級のアドバイスになると思う。

自分はいろいろな人に助けてもらったように思う。学校の先生や両親ましてや妹からもアドバイスをもらった。

当時もらったアドバイスの中で未だに覚えている言葉をいくつか紹介しようと思う。

「自分の“好き”を最後まで突き詰めれば答えはおのずと見えてくる」

「結局は君の人生だから、どんな選択をしても君を応援する」

…改めて書き出してみると自分は周りの人に恵まれているんだなあと再確認する。

この文章を読んでいる中学生の皆さんはどんな言葉を送ってもらっただろうか。もちろんその言葉通りに選択をする必要はない。ただきっとその言葉は君のことを思って綴られたものだろうから、大切に心の奥に閉まっておこう。いつかきっと役に立つ。

最後に私がこの学校に入学した理由を考えていこうと思う。私はこの学校が一番“自分を磨ける場所”だと思ったからである。この学校は設備が整っている。周りの環境が整っているならあとは自分次第だ。そんな学校にワクワクした。だからこの学校に入学することを決意したのだ。みんなも一番ワクワクする学校を選んでみよう。きっとそうして選択した学校に後悔の感情は生まれないと思う。

最後まで読んでいただきありがとうございます。過去の自分と向き合う良いきっかけになった。中学生の皆さんも数年後、この高校を選んだ理由を胸を張って言えるように後悔のない選択をしてほしい。

書記長 竹内綾人